

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

平成30年度 AMED ICT関連事業 成果報告会

入場無料

AMEDでは、ICTを臨床研究等に利用するための基盤構築やAI開発、個人の健康情報管理等に関連する研究開発事業を複数実施しています。

このたび、平成30年度に多くの課題が終了することから、これらの研究成果を研究者、医療機関、アカデミア、ヘルスケア関連企業をはじめ、広く一般の方々までを対象として発表するための成果報告会を開催いたします。また、医療ICTを取り巻く新たな環境の変化について参加者に紹介するとともに、研究開発課題を通して明らかになった課題について参加者間で議論するためのサテライトシンポジウムをあわせて開催いたします。

平成31年

日時

3月5日(火)

10:00~17:30(9:30開場)

会場

丸ビルホール &
コンファレンススクエア

東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7、8階

定員

400名

成果報告会(会場:ホール)

時間	ホール
10:00~10:30	開会挨拶 日本医療研究開発機構 理事長、PS 来賓挨拶 内閣官房健康・医療戦略室、総務省、 厚生労働省、経済産業省(予定)
IoT等活用行動変容研究事業	
10:30~11:20	成果発表(5課題)
11:20~11:50	休憩/ポスター発表
パーソナル・ヘルス・レコード(PHR)利活用研究事業	
11:50~12:50	成果発表(6課題)
12:50~13:40	休憩/ポスター発表
臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業	
13:40~15:10	成果発表(9課題)
15:10~15:50	休憩/ポスター発表
15:50~17:20	成果発表(9課題)
17:20~17:30	閉会挨拶

シンポジウム(会場: Room 4) ※成果報告会と同時開催

10:40~12:50 医療情報基盤の二次利用を目指して(仮)

講演

- 「改正個人情報保護法を踏まえた医療情報の研究利用について」
古田 淳一 筑波大学 医学医療系 医療情報マネジメント学 講師
- 「なぜ『次世代医療基盤法』か」
田中 謙一 内閣官房 健康・医療戦略室 参事官
- 「診療データの外部提供について—医療情報管理部門の立場から」
黒田 知宏 京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授

13:50~15:40 PHR・IoTの実装を目指して(仮)

話題提供

- パナソニック健康保険組合 健康開発センター 保健師 朝日 若菜
- 岩見沢市企画財政部 情報政策推進担当次長 黄瀬 信之
- 株式会社ウィット あすけん事業部 医療事業担当部長 八杉 綾香

パネルディスカッション

座 長: 医療法人社団 鉄祐会 理事長 武藤 真祐
パネリスト: 講演者および総務省、経済産業省

お申し込み

下記の HP または FAX、Email、電話でお申し込みください。

<https://amed-event.org/amed-ict-2018.html>

参加登録開始 2019年1月16日より



【主催】

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 臨床研究・治験基盤事業部 臨床研究課
東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル 21 階 HP: <https://www.amed.go.jp/>



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

【お問い合わせ】平成30年度 AMED ICT 関連事業 成果報告会 参加登録事務局 (受付時間 10:00 - 19:00)
TEL: 03-6846-4338 FAX: 03-6911-0581 E-mail: amed-ict-2018@medical-bank.org